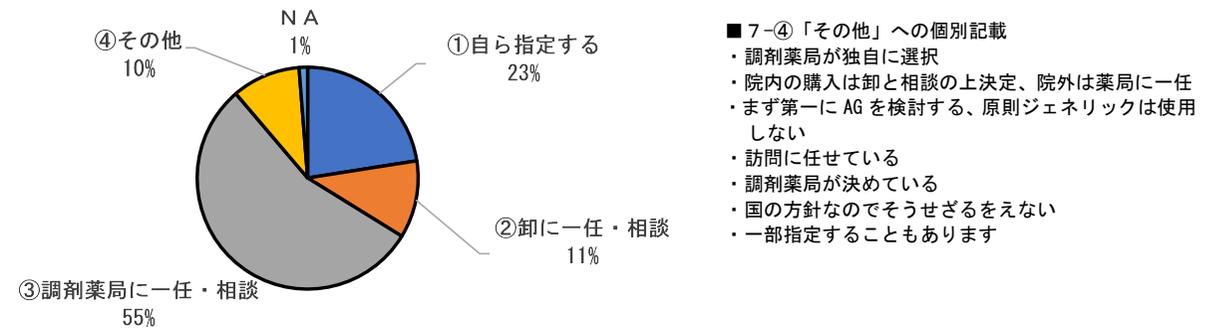
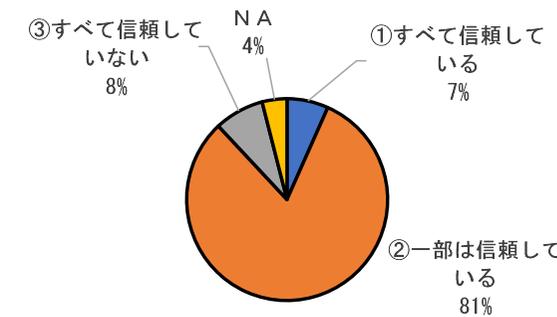




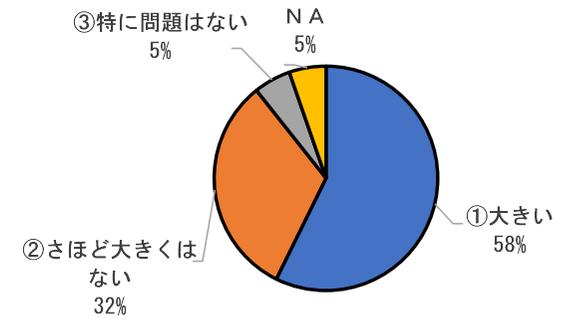
7. ジェネリック含め製薬メーカーはどのように選択されていますか (複数選択可)



8. ジェネリック医薬品を信頼していますか



9. 小林化工事件がわれわれ開業医に与える影響はどのように思われますか



10. ジェネリック医薬品メーカーとの信頼を構築する上でどのようなことが考えられるでしょうか。具体的にお聞かせください

- ・ジェネリックメーカーにも先発品メーカーと同等の義務を負わせるべきだと考える、ジェネリックメーカーでも管理等々ができている会社もあるので一概には言えないが
- ・医師会、薬剤師会等の会員が各ジェネリック医薬品の製造メーカーに定期的に赴き製造過程を監視する事
- ・定期的な立ち入り検査が必要、厚生省の責任も大きい
- ・医院に対して情報提供がほとんどない状況、ジェネリックに係わらず安全な製品であるのが絶対条件と思われる
- ・定期的な説明、コンタクトが必要と考えます
- ・先発の下請け的な要素もあるので医薬品メーカー全体の問題としてとらえる必要がある
- ・メーカーからの情報提供
- ・このような事が行われた時にもっと厳罰に処するようにしてほしい
- ・訪問がないので接点がない
- ・公的機関によるチェック体制の強化
- ・管理等が十分出来ないメーカーは合併統合すべき
- ・先発との違いを患者さん本人に聞いてみる
- ・ジェネリックの品質管理、自社で行うのでは限度があるのでは？
- ・他社との相互チェックや業界団体の介入が必要と思う
- ・治験の実施、データの公表
- ・AGのみとしてほしいです、他は不要

- ①ジェネリックメーカーは多すぎる、②購入側も1円でも安くても、人と人件費を下げざるをえないだろう、③適切なものを適切な価格で購入する必要がある、④アメリカではファイザー等がジェネリックを作っていると聞いたが

- ・定期的な工場の検査をする
- ・薬剤の安全性、効果のデータを出していつてほしい
- ・MRの訪問、情報提供、顔の見える関係
- ・ジェネリック医薬品の詳細な情報提供
- ・ある種の規制が必要？
- ・密な情報提供
- ・実績のない会社とは信頼関係を構築できない
- ・小林化工がどこかの子会社であれば親会社問題にしなければならぬ
- ・AGは使っているがそれ以外はよく吟味してから使用するようになっていく
- ・しっかりとってもらうしかない
- ・品質管理つまり安全性の問題、これに尽きる
- ・ジェネリックは危険な薬だと認識したうえで安価だと選ばれている状況を知らすべき
- ・必要があれば医院から会社に連絡してメーカーのMRの来院を求めている
- ・個々の効果副作用のチェック
- ・後発薬の許認可を厳格にすべきorAGのみにする
- ・小林化工は厚生省の指示通りの薬の製造を行っていなかった、主剤のつぎ足しなどあり得ない、今後厚生省が抜き打ち検査をやるべき
- ・大手メーカーがいつの間にか小林化工などに医薬品製造を依頼している事が問題の本質だ
- ・フィードバック
- ・効果、安全性試験の結果を双方が確認してから使用すべき。行政も、定期的に品質確認を実施する必要があると思います。
- ・同等と同一など言葉巧みに民をだましているのを変えなければならぬ
- ・製造工程の透明化

世話人会だより

西宮・芦屋支部は2月26日(金)に西宮市民会館で世話人会を開催。3人が参加した。

【I. 最近の診療経験の交流】

COVID19、小林化工のリルマザホン混入事件など

【II. 予定・企画】

①第5回新型コロナウイルス感染症研究会(4・17)

【III. 予定・企画(日時未確定)】

①ジェネリック医薬品研究会(仮)(5・22)

②近年開業医懇談会

③認知症外来診療経験交流会

④健康と医療について語り合う会

⑤支部設立40周年記念企画

⑥その他(小林化工のリルマザホン混入事件に関するアンケート結果の報告など)

【IV. 協会・保団連行事】

①第98回評議員会(5・16)

\*世話人会の日程は毎月第4金曜日です。

次回は3月26日(金)に予定しております。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。